

2002年に福井県中池見湿地で標識されたマキノセンニュウ

吉田 一朗¹

マキノセンニュウ *Locustella lanceolata* は、スズメ目ウグイス科に属する全長約12cmの鳥である。ユーラシア大陸の高緯度地方の東半分に偏って繁殖分布し、東南アジアで越冬する。日本では北海道に夏鳥として渡来し、本州以南での渡りの時期の記録はあまり多くない。茂みの中で生活するため、さえぎりの時以外はほとんど姿を見せない (中村・中村 1995, 日高 1997)。

福井県では、東谷の報告に記載されているが(財団法人日本自然保護協会 1965, 1966)、その記録の根拠が明確でなく、確認が必要とされていた (福井県 1998)。また、それ以後の観察記録もないために、福井県レッドデータブック (福井県 2002) 作成時

には福井県の鳥類リストから除外され、検討の対象にならなかった。その後、標識調査でマキノセンニュウが確認されたので、報告する。

マキノセンニュウが記録されたのは、福井県敦賀市榎曲の中池見湿地である (図1)。2002年10月14日に、カスミ網を使った標識調査で、1羽が捕獲された。

中池見湿地は、周囲を山に囲まれたきわめて特異的な袋状埋積谷で、泥炭層が厚く堆積している。北緯35°39′，東経136°6′に位置し、湿地の部分は標高約47m、面積は約25haある (BIDEN 1998, 福井県 1999)。中池見湿地は、その大部分が水田として利用されてきたが、現在はかなり放置された状態

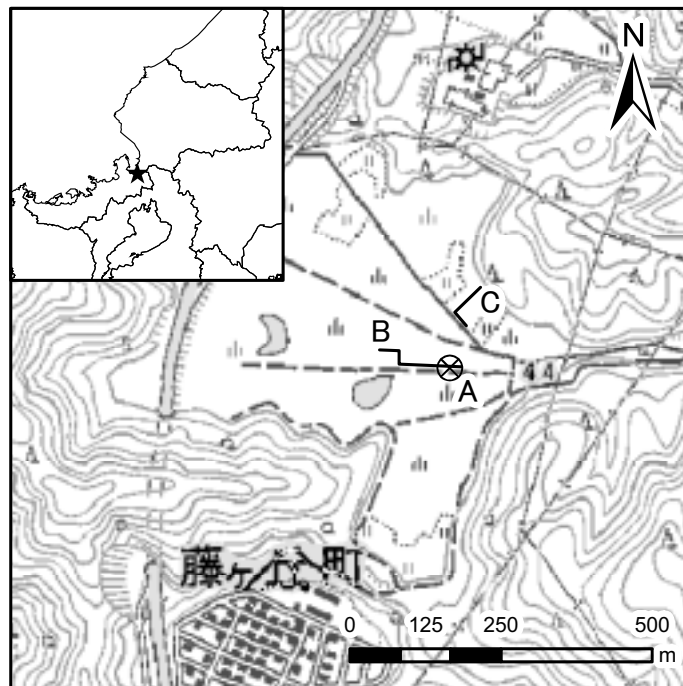


図1. 捕獲地点の位置. A: 捕獲地点, B, C: カスミ網の設置位置. 背景図として国土地理院 (2003) 発行の数値地図25000 (地図画像) 『岐阜』を使用した。

1. 日本鳥類標識協会会員

〒915-0096 福井県越前市瓜生町37 - 28, E-mail: iyoshida@po.ttn.ne.jp

で、ヨシ原などが広がっている。

中池見湿地付近での標識調査は、2000年5月に開始し、1月を除くすべての月に、1回以上の調査を行った。主な網場は、池に近い湿地中央部付近と、林に近い湿地東部付近である。

マキノセンニュウ（写真1）が捕獲されたのは、湿地中央部よりも少し下流の、小川（笹鼻江）のすぐ北側の湿った草地であった（図1）。午前7時の見回りの時に、低く張った30メッシュ（四角形の網目の1辺の長さが15mm）のカスミ網（HTX）の、一番下の棚にかかっていた。性別と年齢は不明であったが、頭骨の骨化指標はD以上と判断された。鳥体を測定したところ、自然翼長53.4mm、尾長50.0mm、跗蹠長18.3mm、露出嘴峰長10.1mm、体重12.4gであった。捕獲した個体は、環境省の足環を装着し、計測を行った後、放鳥した。

今回の記録により、マキノセンニュウが福井県の鳥類リストに入るものと考えられる。今後も、標識調査などによって、県内での生息状況を把握していくことが必要であると考えられる。

なお、本調査にあたり、財団法人山階鳥類研究所の米田重玄氏には、捕獲された個体の写真を検討していただいた。厚くお礼申し上げます。

引用文献

- BIDEN（京都・神戸・福井3大学合同中池見湿地学術調査チーム・日本生物多様性防衛ネットワーク）. 1998. 中池見湿地（福井県敦賀市）学術調査報告書 第一次調査結果の報告. 178pp. 福井県福祉環境部自然保護課. 2002. 福井県の絶滅のおそれのある野生動物 2002 福井県レッドデータブック（動物編）. 243pp. 福井県. 福井県県民生活部自然保護課. 1998. 福井の鳥とけものたち. 222pp. 福井県. 福井県県民生活部自然保護課（編）. 1999. 福井県のすぐれた自然 地形・地質編. 245pp. 福井県福祉環境部自然保護課, 福井県. 日高敏隆. 1997. 日本動物大百科 第4巻 鳥類 . 180pp. 平凡社, 東京. 国土地理院. 2003. 数値地図25000(地図画像) 『岐



写真1. マキノセンニュウ（尾羽が1枚抜けた）. 2002年10月14日.

阜』. 国土地理院, つくば.
国立環境研究所. 2003. 国立環境研究所研究報告
第176号 福井県敦賀市 中池見湿地総合学術
報告. 387pp.
中村登流・中村雅彦. 1995. 原色日本野鳥生態図鑑
陸鳥編 . 301pp. 保育社, 大阪.
財団法人日本自然保護協会. 1965. 日本自然保護協

会調査報告 第16号 若狭湾国定公園学術調査
報告. 166pp. 東京.
財団法人日本自然保護協会. 1966. 日本自然保護協
会調査報告 第26号 越前海岸自然公園学術調
査報告. 128pp. 東京.

First capture record of lanceolated warbler, *Locustella lanceolata*, in Fukui prefecture, 2002

Ichiro YOSHIDA¹

One lanceolated warbler, *Locustella lanceolata*, was captured by mist-net at a wet grassland (WGS-84 datum; 35 ° 39 40 N, 136 ° 05 22 E, altitude 47 m) in Nakaikemi Marsh, Tsuruga city, Fukui prefecture, on 14 October 2002. It is the first capture record of this species in Fukui prefecture.

1. Uryu37-28, Etizen city, Fukui 915-0096. E-mail: iyoshida@po.ttn.ne.jp